

# HP Sure Senseの使用方法

2020年3月  
株式会社 日本HP



© Copyright 2020 HP Development Company, L.P.

MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、HPから使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211および12.212に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェア資料、および商業用製品の技術データは、ベンダー標準の商業用ライセンスのもとで米国政府に使用許諾が付与されます。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

初版：2020年3月

# 目次

1. HP Sure Senseとは？	4
2. 使用上の注意点および推奨事項	6
3. HP Sure Senseの動作	7
4. 検疫されたファイルの削除方法	9
5. 検疫されたファイルの復元方法	11
6. スキャン対象からの除外	13
7. アンチマルウェアソフトウェアからの除外	15
8. アンインストール	16
9. その他の情報	18

# 1. HP Sure Senseとは？

HP Sure Senseは、対応するHPビジネスPCに無償提供されるセキュリティ機能です。ディープラーニングを使用して造られた予測モデルを用いて悪意のある（危険な）ファイルを検出し、マルウェア、ゼロデイ攻撃、ランサムウェア、およびAPT（Advanced Persistent Threat）攻撃からお使いのコンピューターを守ります。

参考：従来型のアンチウィルスソフトは既知のマルウェアのリスト（シグネチャ）に対してチェックを行うためゼロデイ攻撃や、既知のマルウェアの亜種を含む未知のマルウェアを検出することができません。

HP Sure Senseは、以下の機能を使用します。

参考：これらの機能はHP Sure Senseコンソールの設定タブから無効化できます。

- 予測モデル（脅威からの保護）：軽量のディープラーニング予測モデルです。これによって、検査対象のファイルに潜むサイバー脅威が自律的に検出され、ゼロデイ攻撃やAPTに対する保護が有効になります。
- ファイルレピュテーションクラウドサービス：既知のファイルに関するクラウドベースの情報データベースであり、これを使用して追加のファイル検査を行います。このオプションが有効になっている場合、PE（Portable Executable）ファイルのハッシュをクラウドのファイルレピュテーションサービスに送信して検査します。注記：この機能を使用するにはインターネット接続が必要です。
- コンテンツデリバリネットワーク：HP Sure Senseの最新の予測モデルとソフトウェア更新プログラムを自動配信するシステムです。

注記：この機能を使用するにはインターネット接続が必要です。

# 1. HP Sure Senseとは？

HP Sure Senseコンソールの状態画面



設定画面



## 2. 使用上の注意点および推奨事項

無償提供されるHP Sure Senseは機能限定のスタンドアロンアプリケーションとなり、中央集中管理機能やデバイスで検出された脅威情報の収集、分析および通知機能は含まれていません。

参考：Microsoft® SCCMをお使いの場合、SCCMサーバーにHP Manageability Integration Kitを追加インストールすることでSCCMコンソールからHP Sure Senseの設定を配信することができます。入手先は本資料の「8. その他の情報」ページをご参照ください。

サードパーティー製アンチマルウェアソフトをお使いの場合、競合を避けるために以下の2つの設定を両方とも実施する事をお勧めします。それぞれの手順の詳細は本資料の「6. スキャン対象からの除外」および「7. アンチマルウェアソフトウェアからの除外」ページをご参照ください。

1. アンチマルウェアソフトのインストールフォルダとプロセスをHP Sure Senseのスキャン対象から除外する
2. HP Sure Senseのインストールフォルダとプロセスをアンチマルウェアソフトのスキャン対象から除外する

### 3. HP Sure Senseの動作

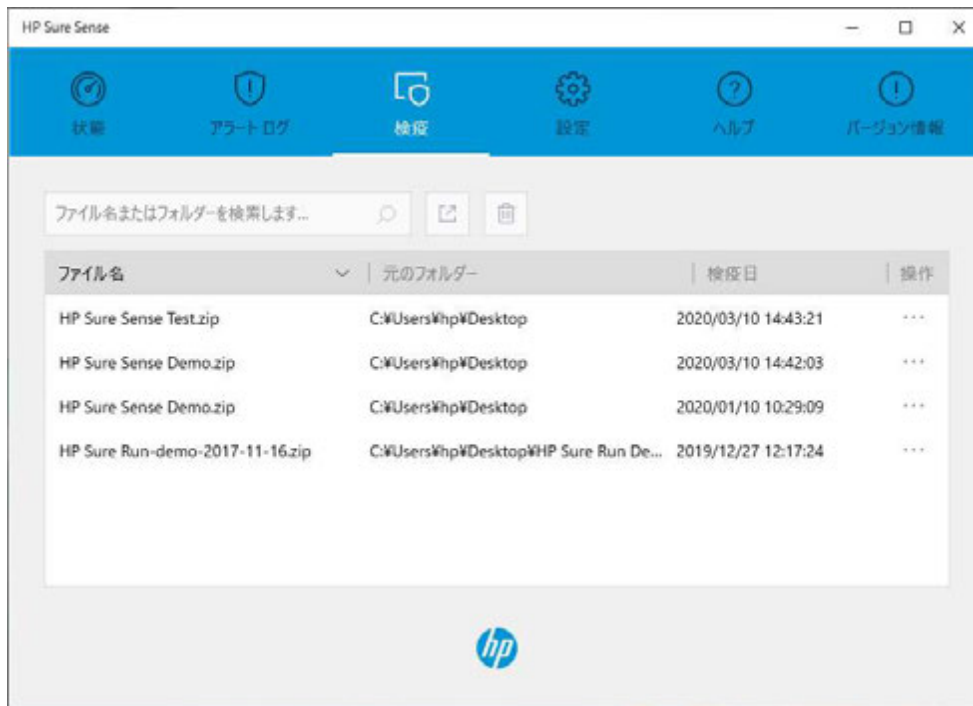
コンピューターのローカルドライブにファイルが新規に追加されると自動的にスキャンされ、分析されます。悪意のある（危険な）ファイルとして識別されると、以下の操作が行われます。

- ファイルがブロックされ、検疫のために隔離されます。検疫プロセスがファイルを検疫フォルダーにコピーし、ファイルを元の場所から削除し、検疫テーブルにファイルを追加します。
- [アラート ログ]画面にイベントが追加されます。脅威から保護されていることを示す通知が表示されます。通知をクリックすると、関連するエントリが強調表示された状態で[検疫]画面が表示されます。

注記：外部ストレージデバイスの悪意のあるファイルはブロックされて実行できなくなりますが、検疫のための隔離は行われません。

### 3. HP Sure Senseの動作

#### 検疫画面



#### アラートログ画面





## 4. 検疫されたファイルの削除方法

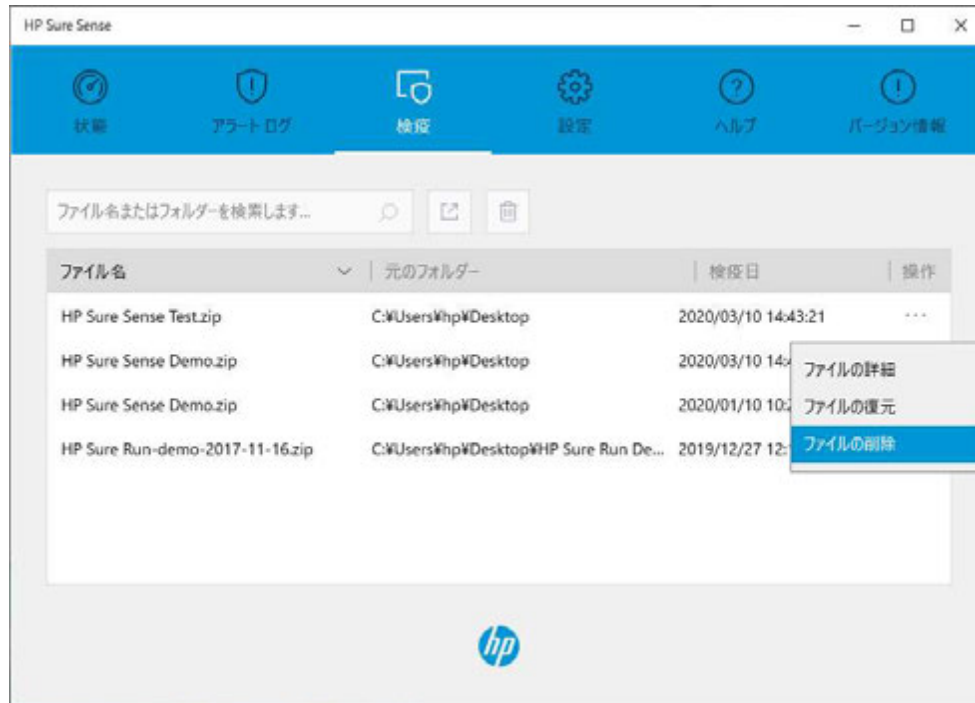
HP Sure Senseによって検疫されたファイルを削除したい場合、次のようにして削除できます。

検疫のために隔離されたファイルを削除すると、検疫テーブルからそのエントリが削除され、検疫フォルダーからファイルが削除されます。ファイルの分類は変更されず、ファイルの新しいインスタンスはすべてブロックされ、検疫のために隔離されます。

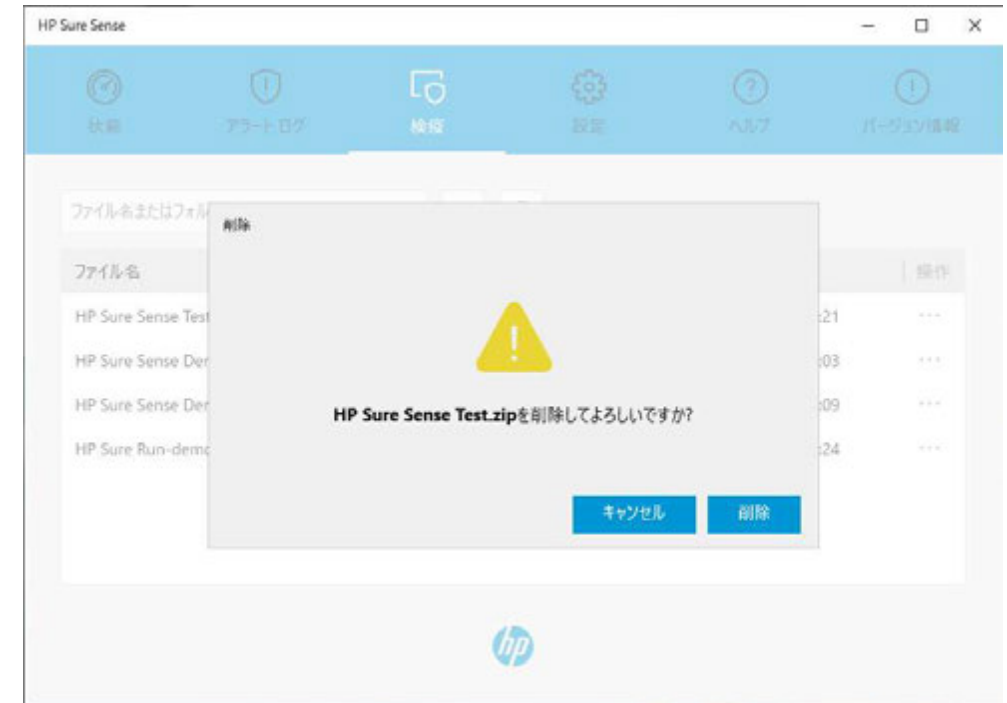
1. スタートメニューから[HP Sure Sense]を選択してHP Sure Senseコンソールを開きます。
2. HP Sure Senseコンソールの[検疫]タブを選択します。
3. 削除したいファイルが表示されている行の[操作]列をクリックします。
4. [削除]を選択します。
5. 削除の確認ダイアログで[削除]をクリックします。

## 4. 検疫されたファイルの削除方法

### 検疫画面



### 削除の確認ダイアログ



## 5. 検疫されたファイルの復元方法

HP Sure Senseによって安全なファイルが検疫されてしまった場合、次のようにして復元できます。

復元されたファイルは元の場所に移動されて実行できるようになります。また、復元されたファイルは信頼できるファイルの一覧に追加され今後はスキャンされなくなります。

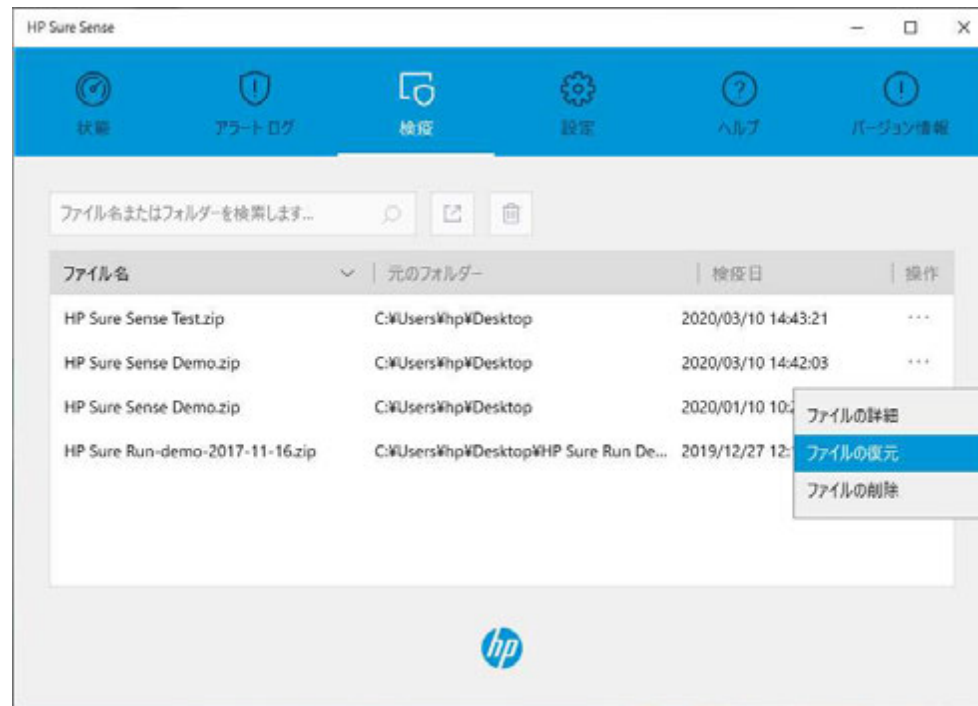
1. スタートメニューから[HP Sure Sense]を選択してHP Sure Senseコンソールを開きます。
2. HP Sure Senseコンソールの[検疫]タブを選択します。
3. 復元したいファイルが表示されている行の[操作]列をクリックします。
4. [復元]を選択します。
5. 復元の確認ダイアログで[復元]をクリックします。

アラートログ画面からも同様の操作でファイルを復元することができます。

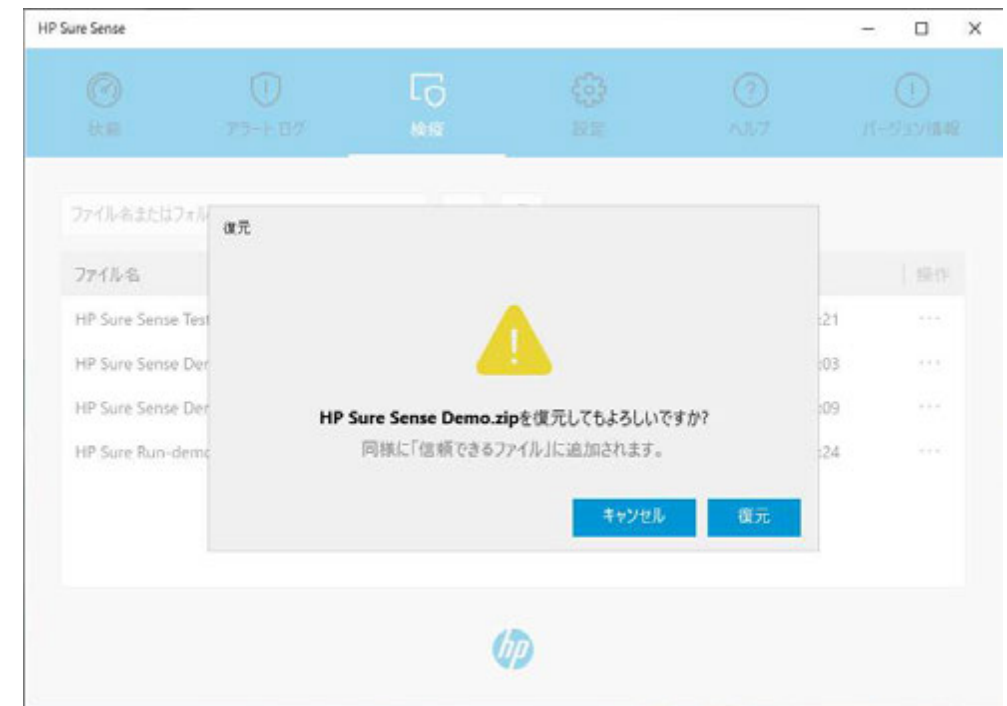
**重要：** 検疫のために隔離されたファイルを復元する場合は、ファイルがマルウェアではないことを確認してから復元してください。

## 5. 検疫されたファイルの復元方法

### ファイルの復元



### 復元の確認ダイアログ



## 6. スキャン対象からの除外

フォルダーおよびプロセスは、[除外]オプションを使用してスキャンされないようにすることもできます。他のアンチマルウェアソフトウェアを使用している場合は、この設定を使用することで競合を避けて互換性を提供することができます。

**重要：**特定のソリューションに対して誤検知が繰り返される場合は、ソリューションベンダーに除外設定の推奨事項を問い合わせてください。

1. スタートメニューから[HP Sure Sense]を選択してHP Sure Senseコンソールを開きます。
2. HP Sure Senseコンソールの[設定]タブを選択します。
3. 設定画面を下にスクロールして詳細設定の[編集]をクリックします。
4. 詳細設定の画面を下にスクロールして[[除外]の編集]をクリックします。
5. 除外ウィンドウで[追加]をクリックして、[プロセスの追加]または[フォルダーの追加]を選択して除外したい項目を追加します。

## 6. スキャン対象からの除外

### 設定画面



### 除外ウィンドウ



## 7. アンチマルウェアソフトウェアからの除外

Windowsデバイスに複数のマルウェア対策ソフトウェアがインストールされている場合、関連するファイル、フォルダー、プロセスを各マルウェア対策ソフトウェアの除外リストに含めることをお勧めします。

これにより、マルウェア対策ソフトウェア間の競合やパフォーマンスの問題の可能性が排除されます。

### フォルダーの除外

C:\Program Files\HP Sure Sense\

C:\ProgramData\HP Sure Sense\

### ファイルまたはプロセスの除外

DeepETPService.exe

DeepMgmtService.exe

DeepNetworkService.exe

DeepStaticService.exe

## 8. アンインストール

アンインストールの方法は、HP Sure Senseをどのようにインストールしたかによって異なります。

お使いのデバイスにHP Sure Senseがプリインストールされていた場合は、以下の操作を行います。

1. [Windowsの設定]の[アプリと機能]に移動します。
2. [HP Sure Sense Installer]を選択し、[アンインストール] をクリックします。

インストールウィザードを使用して手動でHP Sure Senseをインストールした場合は、以下の操作を行います。

1. インストーラーを実行し、[アンインストール]を選択します。



## 8. アンインストール

プリインストール状態からのアンインストール

The screenshot shows the Windows Settings application with the '設定' (Settings) window open. The left sidebar shows the 'アプリと機能' (Apps & Features) section selected. The main content area displays a list of installed applications under the heading 'アプリと機能'. The application 'HP Sure Sense Installer' is highlighted, and the 'アンインストール' (Uninstall) button is visible next to it.

アプリ名	開発元	サイズ	インストール日時
HP Sure Sense	HP Inc.	24.0 KB	2020/02/06
HP Sure Sense Installer		71.9 MB	2020/02/06
HP サポート アシスタント (HP Support Assistant)	HP Inc.	135 KB	2020/03/10
Intel(R) Management and Security Status	INTEL CORP	16.0 KB	2019/08/08
Intel® Graphics Control Panel	INTEL CORP	16.0 KB	2020/03/10

## 9. その他の情報

その他の使用方法に関する情報は下記リンクのユーザーガイドをご参照ください。

<http://h10032.www1.hp.com/ctg/Manual/c06379820>

HP Manageability Integration Kit（HP MIK）のダウンロードおよびユーザーガイドは以下のページにあります。

<https://ftp.hp.com/pub/caps-softpaq/cmit/HPMIK.html>